



宇佐市生涯学習作品展 3月6日(土)

「公民館・集会所などで活動しているサークル・学級生が、それぞれ制作した作品を展示して、市民への公民館・集会所活動の周知を行い、以って生涯学習・社会教育活動の振興を図る。また、サークルや学級生の情報交換の場として、相互の親睦を深め、今後の社会教育の活性化を図る」という趣旨で毎年この時期に開催されています。

コロナ禍の中、各教室での活動が思うように出来なかったということで、今回は出展作品が少なく、また、1日のみの開催となりました。

津房地区公民館からは油絵教室の力作を展示。



永田知徳先生 <上高地>

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区
公民館
☎ 4 8 -
2 0 0 1



吉田マズミさん
… 忍野富士



江藤汰一郎さん
… 安曇野の春



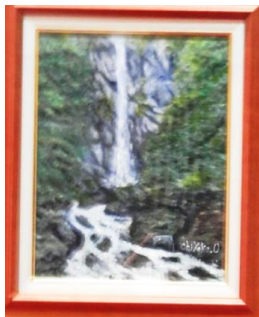
元永淳一さん
… ノイシュヴァンシュ
タイン城 (ドイツ)



3/5 展示作業を終えてパチリ



安部ちえみさん
… ブナ林の秋



大坪ちよ子さん
… 東権屋の滝



安部多恵子さん
… 富士と桜と

2/25 (木)
サロン・年中夢求の今月の作品



牛乳パックに色紙を貼って作った小物入れ。丈夫で重宝しそうです。さて、来月3/25のご予定は？

末松陸男氏より 化石 の寄贈

尾立の末松氏の息子さんが生前、仕事場で発見したという“化石”を地区公民館に寄贈してくださいました。木が長い年月をかけて石になっていったと思われます。火打ち石にもなるそうです。どなたか分析&鑑定お願いいたします。

化石とは

洪積世 (地質時代の区分の一つ。約 200 万年前から 1 万年前まで) 以前に棲息していた生物の死体や遺物で現在に残ったもの。

【小学館・現在国語例解辞典より】



春を告げる ミモザ

芳香を放ちながら艶やかに咲く、黄金色の花 (オーストラリア原産、アカシヤの類)

【花言葉…友情・優雅・秘密の愛・思いやり 等々】



公民館の月曜日休館のお知らせ

宇佐市公民館条例に基づき、四月一日より、月曜日を休館日とさせていただきます。皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほど御願ひ申し上げます。



「深見のわいわい学級」(深見地区公民館) の作品をいただきました。ちりめん布で作ったひな人形です。中にペレット (pellet—プラスチック粒状体) が入っており、手に乗せると、お手玉のような感触で、顔の表情もさることながら、何とも言えない“かわいらしさ”に、つい見入ってしまいます。



俳句

大隈草生選

津房句会

一月例会 一月二十日(土)

兼題(初夢・雪・おでん)



雪の朝ベンチの上に雪ダルマ・一圭

(評)公園がバス停か、ベンチの上に小さな雪ダルマを作って置いてある。子どもの仕業か、大人の遊び心か、微笑ましい景。野も山も家並も純白に降りつつ雪を美しく又、よろこぶ気持ち、そしてこの地区の人らの風雅を楽しむところがうかがえる。

雪折れの音なく雪の夜は更ける・寂蓮
雪の中折れて倒れて水仙花・聖枝
あれこれと具材あふれておでん鍋・洋子
初夢に幼き頃の遊びかな・茂
おでん酒遠き昭和の軍歌(イクサウタ)・草生

今回は三月二十七日(土)午後一時

公民館だより
QRコード



コロナ退散祈願



相原さん(五郎丸) 手づくり作品コーナー



桜



たけのこ



折鶴をつなぎ
合わせた
ひまわりの花

気持ちが伝わるプチ袋・心遣いが嬉しいプチ袋

やっぱり相原さんの手は神の手(指)でした。今、祝儀袋には内袋がついていますが、相原さんはみの紙のようなやわらかい紙で鶴を折り込み、内袋として使っているそうです。きれいな布や紙を見るとアイデアが次から次へと浮かんでくるとのこと。

相原さんちの蔵にはまだまだ素晴らしい作品が眠っているに違いありません。

プチ袋



今後の行事予定

3月23日(火)	津房地区老人クラブ新旧役員会 16:00~ <津房地区公民館>
3月26日(金)	女性ドライバー安全会 新旧役員会 19:00~ <津房地区公民館>
3月29日(月)	遺族会役員会 15:00~ <津房地区公民館>
4月18日(日)	宇佐市長選挙
5月19日(水)	がん検診 <津房地区公民館>
6月4日(金)	特定健診 <津房地区公民館>

おひな様はもう少し飾っておこうと思います。

「早くしまわないと嫁に行けなくなってしまう」と誰が言ったのでしょうか?!



おおくぼさんのやさしいお話

「携帯電話」



「お母さん、友達の〇〇ちゃんは、入学祝いに携帯電話買ってもらうんだって。私も欲しいなあ。」この春中学生になる知人の娘さんが、知人の顔をうかがうように言ってきたそうです。「まだ早いんじゃない?確かに中学生で持ってる子もいるとは聞くけど、本当に必要なのかしら」「だって、友達とメールできないと話題に乗り遅れるし、万が一のために持っておく方が安心だよ。」

みなさんは、この会話からどのようなことを感じますか?

近年、子ども達がネットトラブルや犯罪に巻き込まれる事象が後を絶たず、ネットいじめなど匿名性を悪用した誹謗中傷や人権侵害のニュースも数多く報道されています。

警察庁の統計によると、最近は、出会い系サイトによる犯罪被害が減少傾向にある一方で、ゲームやプロフなど出会い系以外の様々なサイトで犯罪被害に遭うケースが増えているという結果も出ています。

私たちは、携帯やネットの便利さばかり優先してしまい、いろいろな危険性については、つい甘く考えがちではないでしょうか。自分や家族は、気をつけているから大丈夫だと思い込んでいませんか。

携帯を初めて手にする方も多い入学シーズンになります。自分も他の人も傷つけることのない正しい使い方やネットトラブルへの対処法などについて、再度、家族で相談・確認し合ってみんなの安心につなげていきたいものです。

【大分県人権啓発コラム「心ひらいて」より
安心院中央公民館 社会教育指導員 大久保和則】

—とある佐藤家の親子の会話—

母(短歌風に)「我が家には 手作りのもの 何もなし
定価はがして 膳に置くのみ」
娘 「おっしゃる通りデス((笑))」
(当たっているだけに返す言葉がない)

公民館の開館日は 火・水・金曜日です。お気軽にお立ち寄りください